

V 教育訓練

(教育訓練)

1 概 要

近年、災害の態様は、気候変動や社会情勢の変化等に伴い複雑多様化・大規模化の傾向にあり、消防機関の業務は、このような状況に適切に対応するため、警防、予防、救急、救助等あらゆる活動分野でその量・範囲が増加・拡大する中、専門的かつ高度な知識や技術が求められている。

群馬県消防学校では、消防職団員に対し、その使命・責務を正しく認識させることはもとより、一層の専門化・高度化を図り、業務遂行上必要となる知識及び技術の修得を図るため、国の教育指標である「消防学校の教育訓練の基準」に基づき、多様な教育訓練を実施している。

また、女性防火クラブや自衛消防隊など自主防災組織の入校も積極的に受け入れ、防災関係の講義をはじめ、消火設備・器材の取扱い、災害模擬体験等を通じ、防火防災思想の普及を図っている。

なお、消防の幹部・指導者の養成を目的として必要な知識、技術、管理能力等の修得を図るための教育訓練を実施している総務省消防庁の消防大学校には、毎年度県下から十数名が入校している。

2 消防学校の教育訓練

(1) 平成26年度教育訓練概要

消防行政を取り巻く環境の変化や住民の要望に消防機関が的確に対応できるよう、教育訓練の充実を図るとともに、知識・技術を効率的・効果的に修得させることを主眼として、消防職団員の育成に努めた。

併せて、広く開かれた学校として、女性防火クラブや自衛消防隊、自主防災組織に対する教育訓練についても積極的に実施し、防災思想の普及に努めた。

なお、平成26年度は、日本救急医学会公認の病院前外傷救護教育プログラムで、救命率の向上に有効な「JPTEC (Japan Prehospital Trauma Evaluation and Care) プロバイダーコース」を消防職員専科教育の救急科に導入した。また、平成25年12月に制定された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」を受けて消防庁告示「消防学校の教育訓練の基準」が平成26年3月に改正され、従来の消防団員教育の「中級幹部科」が「指揮幹部科」として拡充強化されたことから、本校も指揮幹部科を導入した。

(2) 機 構

職 名	校 長	副 校 長	教 務 係 長	主 幹	副 主 幹	計	その他職員		合 計
							嘱 託 職	臨 時 職	
人 員	1	1	1	3	4 (消防 (局)本 部からの 派遣 4)	10	5 (内舎監2 専任講師1 医師1 その他1)	1	16

(3) 施設 (寮室収容人員100名)

施設	区分	構造	延床面積 (m ²)	摘要
敷地			22,938	
施設	本館	RC (3階)	1,241	1階 事務室、機材室、教官室、休養室、トイレ(男女)
				2階 第2教室、理化学教室、図書室、準備室、トイレ
				3階 第1教室、視聴覚教室、トイレ
	寄宿棟 (北寮)	RC (3階)	1,486	1階 寮直室、舎監室、談話室、食堂、浴室、救急実技室、洗面所、トイレ
				2階 寮室6室(4人×6室)、洗面所、トイレ
				3階 寮室6室(4人×6室)、洗面所、トイレ
	寄宿棟 (南寮)	RC (3階)	1,544	1階 大教室、特別会議室、浴室(男女)、トイレ(男女)、洗面所、倉庫、機械室、寮室1室(4人×1室)
				2階 寮室4室(4人×4室)、救急実技室、談話室、洗面所、トイレ、倉庫
				3階 寮室8室(4人×8室)、茶室、洗面所、トイレ、倉庫
	屋内訓練場	RC (1階)	868	管理室、脱衣室、機械器具室、講師室、ステージ、トイレ
	燃焼実験室	RC (一部2階)	280	スプリンクラー設備、水噴霧消火設備、粉末消火設備、二酸化炭素消火設備、泡消火設備、補助訓練塔併設
	訓練塔	RC (8階地下1階)	457	煙道付(17m・地下1階)
	補助訓練塔	S (2階)	122	ホース乾燥設備併設
	煙道	床板張	29	
水難救助 訓練用施設	RC	400	25m×7コース、洗眼装置、滅菌装置一式、トイレ	
車庫	S (1階)	403	機械実習室、高圧空気充填室、エアコンプレッサー設備	
機械室	RC (1階)	72	給排水用設備一式、冷暖房設備一式	
屋外訓練場	芝張等	8,000	放水標的、照明設備、洗車場、自家発電設備	
駐輪場	S (1階)	29	14.7m×2m 30台分	
その他		197	LPG倉庫、合併処理槽、ポンプ室、キュービクル2基、渡り廊下等、浄化槽、井戸、屋外便所	

(4)平成26年度教育訓練実施状況(1)

平成27年3月31日現在

教育区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	延日数 美日数(日)	教育時間 (時間)	摘要 期・人数	
		初任教育	初任科	初任科	初任科	初任科	初任科	初任科	初任科	初任科	初任科	初任科	初任科				初任科
職員教育	初任教育	—	8(9日入校式)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	164	817	67期 104人	
	専科	警防科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	70	42期 25人
		予防査察科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	23	6	10	70	36期 23人
	科	危険物科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	49	36期 24人
		火災調査科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	70	36期 27人
	教育	急救科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	57	266	20期 79人
		救助科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	29	140	42期 26人
	幹部教育	中級幹部科	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	49	27期 22人
		無線通信課程	—	29 30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2	14	44期 118人
	特別教育	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	7	2期 19人
		合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	307	1,552	467人

平成27年3月31日現在

下段:人数

上段:日数・(時間)

平成26年度教育訓練実施状況(2)

教育区分		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	備考	
団員教育	基礎教育	普通科	4 (24) 117												4 (24) 117	2日×2回	
		機関科		5 (36) 107	1 (6) 48											6 (42) 155	2日×3回
	幹部教育	現場指揮課程			4 (24) 97											4 (24) 97	2日×2回
		ラッパ科							1 (6) 23							1 (6) 23	1日×1回
	特別教育	指導員研修							2 (10) 42							2 (10) 42	2日×1回
		一日入校		2 (11) 65	4 (12) 138	7 (36) 265	5 (69) 551									18 (128) 1,019	42回(隊)
		現地教育		1 (6) 300					2 (4) 34	7 (14) 163						10 (24) 497	10回
	関係団体	計		4 (24) 117	8 (53) 472	9 (42) 283	7 (36) 265	5 (69) 551	5 (20) 99	7 (14) 163						45 (258) 1,950	
			女性防火クラブ 婦人消防隊			3 (6) 107				1 (2) 25	2 (6) 38	1 (2) 26					7 (16) 196
		防火管理者 その他の団体									1 (5) 31					1 (5) 31	1団体
計							1 (2) 32	1 (5) 19	1 (2) 7	2 (6) 38	1 (6) 85				3 (13) 136	3団体	
合計		4 (24) 117	8 (53) 472	12 (48) 390	7 (36) 265	6 (71) 583	7 (27) 143	9 (20) 201	3 (13) 142					56 (292) 2,313			

(5)平成26年度消防本部別入校者数(職員教育)

平成27年3月31日現在

課程 科	初任教育	専科教育						育			幹部教育		特別教育		計	
		警防科 42期	予防 査察科 36期	危険物科 36期	火災 調査科 36期	救急科 20期	救助科 42期	中級 幹部科 27期	無線通信 課 44期	ビデオ硬性 挿管用喉 頭鏡講習 2期						
消防本部(局)期	67期															
前橋市	11(1)	5	4	5	6	7(1)	6	5	15(1)	1						65(3)
高崎市等広域	21(1)	2	2	2	2	15	2	2	22(1)	2						72(2)
桐生市	8	2	2	2	2	4	2	2	8	2						34
伊勢崎市	12(1)	3	3	3	3	12	2	2	15(1)	2						57(2)
太田市	6	4	4	4	4	2	4	4	7	2						41
利根沼田広域	6	1	1	1	2	6	2	1	6	2						28
館林地区	8	2	2	2	2	5	2	2	10	2						37
渋川広域	10(1)	2	1	1	2	10	2	1	9(1)	2						40(2)
多野藤岡広域	6	2	2	2	2	4	1	1	8	2						30
富岡甘楽広域	9(1)	1	1	1	1	9(1)	1	1	8(1)	1						33(3)
吾妻広域	7(2)	1	1	1	1	5(1)	2	1	8(2)	1						28(5)
計	104(7)	25	23	24	27	79(3)	26	22	116(7)	19						465(17)
									※118							※467(17)

※ 消防職員以外の入校者(太田市役所2名)を含む。

注 ()内は女性数(内数)

(5)平成25年度消防本部別入校者数(職員教育)

平成26年3月31日現在

課程 科	初任教育	専科					教育				特別教育			計
		警防科	予防 査察科	危険物科	火災 調査科	救急科	救助科	幹部教育	無線通信 課程	ビデオ硬性 挿管用喉 頭鏡講習	ポンプ操作 指導員課程			
消防本部(局)	66期	41期	35期	35期	19期	41期	25期	43期	1期	19期				
前橋市	5	5	4	5	6	6	5	4	2	16				66
高崎市等広域	21(1)	2	2	2	2	15	2	3	2	4				57(1)
桐生市	8(1)	2	2	2	2	4	2	-	2	6				32(1)
伊勢崎市	12	3	2	2	2	10(1)	2	3	2	5				45(1)
太田市	4	5	4	4	5(1)	-	4	1	2	6				39(1)
利根沼田広域	6	1	1	1	2	4	2	-	2	4				24
館林地区	7	2	2	2	2	4	2	2	2	5				32
渋川広域	11	1	1	1	1	13(1)	1	1	1	6				38(1)
多野藤岡広域	4	2	2	2	2	4	1	2	2	5				27
富岡甘楽広域	6	1	1	1	1	5	1	-	1	5				23
吾妻広域	5	1	1	1	1	5	2	1	1	5				24
計	89(2)	25	22	23	26(1)	72(2)	25	17	19	67				407(5)
								※ 19						※ 406(4)

※ 消防職員以外の入校者(伊勢崎市消防団1名、消防保安課1名)を含む。

注 ()内は女性数(内数)